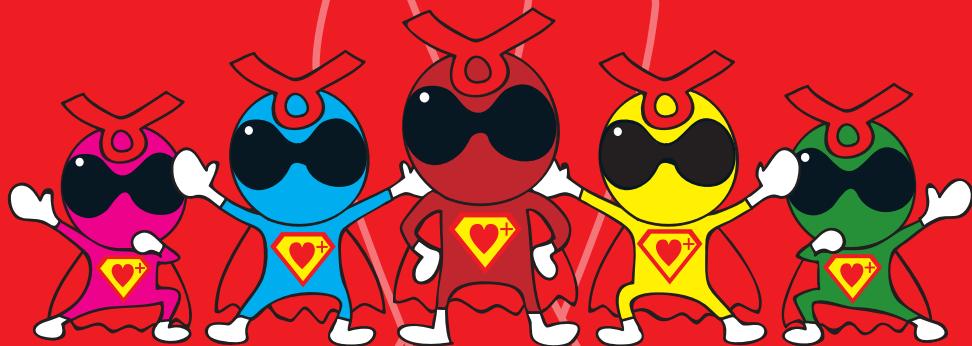




KUIS × Stop! AIDS



あなたを守り隊



まずは自分から、すべては愛する人と
自分の未来のために

HIV AIDS

正しい知識と検査の重要性

12.01



あなたを守り隊は、組織コミュニケーション論履修クラス、
KUIS BATON PROJECT、和田ゼミ社会起業研究会が連携して発足しました。
AIDS は身近な存在であるということを
学生一人一人が認識し、正しい知識を持ち、検査を受け、
誰もが当事者として感染予防の主体となることを目指しています。

目次

AIDS/HIV とは	5
問題は、HIV 感染の無症候期！	
 日本の現状	6
 世界の現状	7
 感染経路を正しく理解しよう	8
HIV の最大の感染経路は性行為です！	
 Sexually Transmitted Disease(STD)	9
性感染症ってたとえば？？	
 あなたはどれだけ知ってる？ QandA	10
 こんな日常生活ではうつりません	11
 防ぐにはどうしたらしいの？	12
コンドームの使用上の注意と豆知識	
 感染が心配になつたら	13
感染を知るには HIV 検査に行くしかない	
 HIV検査に行ってみた！ KUIS 生の体験報告	14
 無料電話相談情報	15

11月下旬。

二人は12月1日の交際記念日を
どう過ごすか話していました。

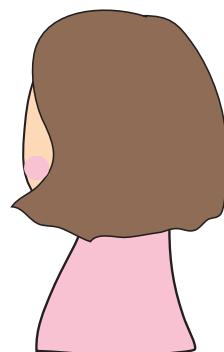
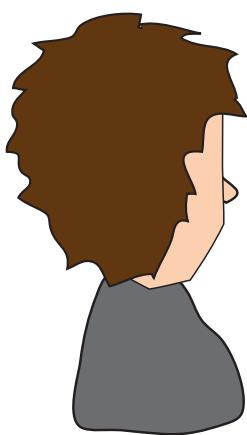
すると

とあるポスターを見つけました。



元カレの元カノの元カレ ??

AIDS ってなに ?



一度は聞いた事があるかな？
でも正しく理解している人は少ないんだ。
この機会にちゃんと基本を知ろう！



AIDSとは **Acquired Immuno Deficiency Syndrome**

AIDS(エイズ)は「後天性免疫不全症候群」のこと。HIVに感染したことにより、免疫機能が低下し、23種類のAIDS指標疾患のいずれかを発症した状態を言います。現在の医学では、完治できません。

HIVとは **Human Immunodeficiency Virus**

HIVは「ヒト免疫不全ウイルス」という免疫力を低下させてしまうウイルスのこと。HIVに感染すると、数週間以内に風邪に似た症状が出ることがありますが、それだけでは感染に気づきません。そして、数年から十年と言われる「自覚症状のない時期(無症候期)」を経て、AIDSを発症します。現在の医学では、HIVを体内から完全に除去できず、一生、薬を飲み続けて闘い続けることが必要になります。

<問題は、HIV 感染の無症候期！>

問題は、HIVに感染すると
長い期間の「自覚症状のない無症候期」があること！

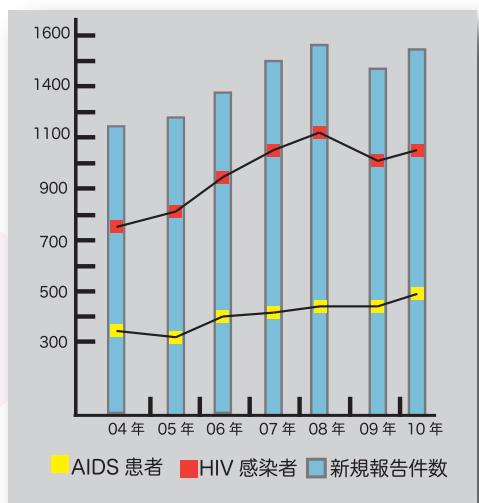
この期間には、無自覚に、大切なパートナーにHIVをうつしてしまいかねません。そこで、まず予防！性行為には必ずコンドームを使う！そして、自ら検査を受けて、早く感染を見つけ、治療を受けてAIDSの発症をおさえることがとても大事です。



HIV/AIDSの存在に世界が気づいてから、もう30年。
世界全体としては1999年が流行のピークと考えられていて、
現在は減少傾向にあるけど、日本では・・・

日本の現状

日本で初めてAIDS患者が確認されたのは1985年。以来、先進国でのHIV感染者は減少に向かってきましたが、日本での新規感染者はまだまだ増え続けています。2010年のHIV新規感染者は1,075人、新規エイズ患者は469人。HIV新規感染者は4年連続で1,000人をこえました。2011年6月現在での累計は、HIV感染者は13,083人、AIDS患者は6,036人で、合計19,119人にのぼります。そして、感染の中心は20代、30代。私たち学生はHIV/AIDSのリスクに最も近い世代です。



しかしながら、「エイズのことはよく知らない」「自分には関係ない」といった無関心から、HIV検査に行く人の数は減少し、感染拡大の原因となっています。

私たち若者こそが、当事者意識をもって予防に取り組み、HIV検査を受けることが不可欠なのです。

世界の現状

UNAIDS(国連合同エイズ計画)によると、2009年時点で、世界でHIVとともに生きる成人と子どもの数は3,330万人と推定されています。最も深刻な地域はサハラ以南のアフリカ。HIV感染者は2,250万人、新規HIV感染者は180万人、AIDSによる死者は130万人という深刻さです。南アジア・東南アジアも深刻で、HIV感染者は410万人、新規HIV感染者は27万人、AIDSによる死者は26万人となっています。



HIV陽性者の半数以上は女性と少女です。特に、家庭や社会における女性の地位が低い地域では、女性は妊娠・出産を繰り返すことで、母子感染の危険性が高まっています。また、感染しても薬が高価で買えないなどの理由のほか、教育が行き届かず、正確な情報を得ることが困難なことも感染拡大の理由となっています。世界が協働することで、今までに520万人が治療を受けられるようになりましたが、この数は治療が必要な人々の36%にすぎません。また、予防の面で正しい知識を持つ人は34%と、いずれも課題が多いままです。



こんなことになっているとは・・・

どういう感染経路があるんだろう？

感染経路を正しく理解しよう

1 性行為

(ナルセックス・オーラルセックスを含む)

2 血液感染

(麻薬、覚せい剤の「まわし打ち」)

3 母子感染



HIVウイルスは、一度外に出てしまうと生きていくことができない非常に弱いウイルスです。しかしながら、主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれているため、最大の感染経路は性行為です。性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通じて感染します。

また、注射器具の共用やHIVが存在する血液の輸血でも感染します（日本では、献血された血液は厳重な検査にかけられるため、輸血における感染はありません）。

妊娠や出産に伴う母子感染は予防が可能となっていましたが、2010年には4年ぶりに1件の報告がありました。

HIVの最大の感染経路は性行為です！

性感染症にかかっていると、HIVにも感染しやすい！

Sexually Transmitted Disease(STD)

性感染症ってたとえば??



クラミジア感染症

クラミジアは世界的に最も頻度の高い性行為感染症。日本でも非常に感染率が高い。

男性は尿道に軽い炎症をおこし、排尿時にしみる場合がある。
女性では、軽い下腹部痛や性交痛が現れる場合もあるが、ほとんどは無症状で、放置すると不妊や子宮外妊娠の原因となる。

梅毒

梅毒トレボネーマという細菌による慢性的な全身感染症。

感染後3週間程度で感染部位にしきりができる(第1期)、全身に赤い斑点、倦怠感、脱毛などの症状(第2期)を経て、内臓や脳神経に重い症状が現れる(第3期)。

昔は「性病」と呼ばれていましたが、今は「性感染症」と呼ばれるようになり、クラミジアやエイズも含まれるようになりました。

淋菌感染症

淋菌感染症も頻度が高く、最近は男性に感染が広がっている。

男性は尿道炎になり、強い排尿痛や尿道口が赤くなるなどの症状が出て、尿道から濃い黄白色の分泌物が多量に出ることもある。
女性では無症状か、おりものや排尿痛、下腹部痛の症状が現れる。クラミジア同様、不妊や子宮外妊娠の原因となる。

性器ヘルペスウィルス感染症

女性に多く、感染するとウイルスが潜伏し、皮疹を繰り返す。

性器やお尻の周辺の皮膚に赤いブツブツや水ぶくれ、ただれができる。
男性は陰茎包皮や亀頭などに複数の小さな水疱ができ、数日後に破れて痛みをともなう浅い潰瘍となる。
女性は外陰部の水ぶくれや排尿困難、発熱をともなう。

尖圭コンジローマ

尖圭コンジローマの原因となるヒトパピローマウイルスは、子宮頸がん、外陰がんを引き起こす可能性がある。

男性・女性ともに性器・肛門周囲の湿った部位に、淡紅色や薄い茶色のいぼがびっしりできる。

STDは、STI (Sexually Transmitted Infection) と呼ばれることもあります。

このような症状が現れたらすぐに診察・治療を受けましょう。

性感染症は抗生物質の投与で治療が可能です！



他人事ではない！私たちは大丈夫！？

あなたはどれだけ知ってる？

Q クラミジアや淋病などに感染していると、HIVに感染しやすい？

YESA

クラミジアや淋病など他の性感染症によって、性器の粘膜が傷ついていると、HIVに感染しやすくなります。

Q 避妊用にピルを使っているから、HIVにも感染しない？

NOA

避妊とHIV感染予防とは全く別のことです。精液や膣分泌液からお互いを守るのはコンドームだけです。ピルを使っていてもいなくても、HIV予防と性感染症予防には、コンドームの常用が必須です。

Q 「感染したかも？」って思ったらすぐに検査に行くべき？

NOA

検査では、HIVに感染したことを察知した体の免疫システムが作り出す抗体の有無を調べます。通常、この抗体が出来るまで4~12週間かかるので、感染後すぐに検査をしても正確な結果は得られません。感染の可能性がある行為から3ヶ月程度の時間を置いてから検査を受けましょう。

Q 献血でHIV検査は行えるのか？

NOA

献血者にHIV通知はされません。献血はHIV検査の代わりにはなりませんので、HIV検査は保健所で受けて下さい。



HIVは血液、精液、膣分泌液、母乳などに多く含まれ、汗、尿、便、涙、唾液などでは感染しません。

HIVは傷口や粘膜から体内に侵入してきます。
皮膚接触や空気では感染しません。

<こんな日常生活では HIV はうつりません>

- ・握手
- ・咳
- ・くしゃみ
- ・回し飲み
- ・コップの共有
- ・鍋などを一緒に食事
- ・手すり
- ・お風呂
- ・プール
- ・洋式トイレ

HIVは誰にでも感染する可能性があります。

しかし、性行為以外の社会生活ではうつりません。

感染症がどういうものか、またどこにリスクがあるのかを

正確に理解し、差別や恐怖を煽らないように心がけましょう。

自分が当事者であると同時に、パートナーにだけでなく、

この問題に直面している多くの人にも思いやりを持ちましょう。



コンドームの使用が有効！

HIV・性感染症の感染は、コンドームを正しく使用することでほぼ100%防げます。直前につけるのではなく、性行為のはじめから終わりまでつけておくことが大切です。オーラルセックスでも感染の可能性は十分にあります。コンドームの破損には注意しましょう。

使用上の注意

1. 爪などで傷つけないように注意して取り出し、表裏をよく確認してつける。

2. 先端部の精液だまりをつまんで空気が入らないようにし、亀頭を露出させてくるくると巻きおろす。

3. 根元まで巻きおろしたら、一度根元の皮膚を上にあげ、コンドームをさらに根元までかぶせる。

4. 射精後は、途中ではずれないように、端をおさえて取り出す。

豆知識

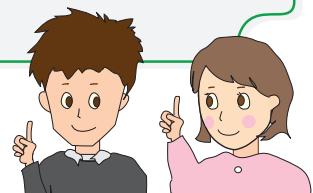
●コンドームにはサイズがあります。
S・スリム、L・ラージサイズなどがあります。
自分に合うものを探しましょう。

●裏表を間違えてつけてしまったら?
つけ直してはいけません。ムダだと思わず、新しいものを使いましょう。

●コンドームの二枚重ねは逆効果。
ゴム同士の摩擦でかえって破れやすくなります。

●コンドームには寿命があります。
使用期限は製造日から3~5年くらい。
使用前に期限をチェックしましょう。

●冷暗所に保管しましょう。
空気、高温、光との接触は品質の劣化を招きます。ズボンのポケット、財布、車のコンパートメントなどに長時間保管したものは、使用期限内でも安全とはいえません。



風邪の予防にマスクをするように、
性行為には必ずコンドーム!!

<感染が心配になったら>

感染を知るには HIV 検査に行くしかない

HIV検査は、血液の中にHIVに対する抗体があるかどうかを調べる「抗体検査」が一般的です。

検査は、血液の中にこの抗体があるかどうかを調べる「採血のみ」の検査です。

検査はすべて「匿名」「無料」で、「全国どこの保健所でも」受けられます。

平日に加え、土日や夜間に検査可能な保健所もありますので、「HIV検査・相談マップ」で調べましょう。

<http://www.hivkensa.com/>

<http://api-net.jfap.or.jp/index.html>

同時に無料で性感染症（STI・STD）の検査を受けることもできます。

<検査は2種類>

通常検査：通常検査は、結果がわかるまで1週間程度が必要です。

※性感染症の検査も受けることができます。

即日検査：即日検査は約1時間で結果が出ます。

※性感染症の検査も受けることができます。

少量の血液（約5cc）を採血し、最初に行われるは「スクリーニング検査」。

結果が「陰性」であれば、心配は無用です。

ただし、感染後4週間以内に検査をした場合は「陰性」となる場合もありますので、感染の可能性のある機会から3ヶ月程度の時間を置いてから検査を受けましょう。

結果が「陽性」であれば、引き続き「確認検査」を実施します。

HIV感染による「真の陽性」か、非特異反応による「偽陽性」かを確認します。

HIV検査は、全国どこの保健所・検査センターでも、匿名、無料で受けられます。

HIV検査の結果については、本人と直接面談する形で通知され、電話や文書による通知は行われません。結果は本人だけに知らされ、家族や学校、会社などには一切通知されません。結果の説明に加え、必要に応じて相談カウンセリングや医療機関・支援団体への紹介等も行われます。

実際に HIV 検査に行った KUIS 生からのリポート

<休日エイズ検査(即日検査) + 性感染症検査(通常検査)の例>

10時頃、保健所に行きました。

○まず、検査申込書とアンケートに記入(検査を希望する理由、何で検査を知ったか、STD検査の希望)

○個室に呼ばれ、アンケートを元に診断、質問などがあり、

HIV/AIDSの基礎知識、自分が住んでいる県ではどれほどの人が感染しているか、

検査にあたっての不安点、陽性だった場合はどのようにすればいいのかなどの説明を受けました。

○待合室に行き、採血の順番を待ちます。

待合室には、HIV/AIDSに関する資料やパンフレットやコンドームが用意されていて

閲覧したり、持ち帰れるようでした。

○検査室に移り、採血してもらいます(注射器でごく少量の採血をするだけ)。

待合室に戻り、結果を待ちます(混み具合にもよりますが、20分程待ちました)。

○呼ばれたら、別室に行き、口答でHIV検査の結果を聞きます。

このときに、不安なことなどがあれば相談もできます。

梅毒・クラミジアの検査結果については、後日電話で連絡が来る旨を伝えられました。

11時頃には終わりました。 所要時間は約1時間。

梅毒・クラミジアの検査の結果は、約2週間後に電話で伝えられました。

※検査の中で、名前や住所を記入したり、聞かれることは一切ありませんでした。 そして、すべてが無料でした。

<HIV感染は予防できるのです>

そのためには、性行為の際に必ずコンドームを使用すること!
そして、HIV検査に行くことが重要です!

HIVウイルスに一度感染してしまうと体内から完全に排除できる治療法はありません。

しかし、現在では新薬開発も進み、抗HIV薬によってウイルスの増殖を抑えることができます。

エイズの発症を遅らせることで、長期間にわたり、従来と変わらない日常生活を送ることができます。

感染の早期発見と、
早期治療開始が何よりも大切です。



●エイズ予防財団 無料電話相談 フリーダイヤル 0120-177-812

「HIVに感染したのではと不安になったとき」
「HIVの感染がわかり、どうしたらよいか困ったとき」
「恋人が、家族が、同僚が、HIVに感染しているとわかったとき」など、
エイズに関する心配を持ちつつ、誰にも相談ができないで、
一人で悩んでいる人のための相談電話です。
トレーニングを受けた専門相談員が対応してくれますので、
安心して電話で話すことができます。

●ほかに、さまざまな専門的な「電話相談窓口」もあります。
<http://www.hivkensa.com/soudan/index.html>

*KUIS Stop! AIDS 情報

<http://www.kuis.org/kuisbatonproject/index.html>

大切な人を守りたい。

愛してるからこそ

相手に想いやりを。

すべては自分から、愛する人と
自分の未来のために

